



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成30年1月26日

上場会社名 株式会社 ジーダット

上場取引所 東

コード番号 3841 URL <http://www.jedat.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 執行役員 (氏名) 河内 一往

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 太田 裕彦

TEL 03-6262-8400

四半期報告書提出予定日 平成30年2月8日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	1,342	12.1	60	21.9	64	26.2	42	39.1
29年3月期第3四半期	1,197		77		86		70	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	22.26	22.25
29年3月期第3四半期	36.55	

(注)平成28年3月期第3四半期は連結業績を開示していましたが、平成29年3月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。このため、平成29年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	3,189	2,704	84.7
29年3月期	3,191	2,690	84.2

(参考)自己資本 30年3月期第3四半期 2,702百万円 29年3月期 2,688百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		15.00	15.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,950	15.1	150	14.1	150	19.9	100	44.0	52.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	1,950,000 株	29年3月期	1,950,000 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	30,095 株	29年3月期	30,095 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	1,919,905 株	29年3月期3Q	1,919,951 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における、当社の主要顧客である半導体およびFPD (Flat Panel Display) 等の国内電子部品業界は、国内の景気がゆるやかな回復傾向にある中、円安基調の継続および世界的な電子部品需要の増大を追い風にして概ね業績を回復しつつあります。特に携帯機器向けや自動車向けの分野、およびサーバ関連向けの分野においては、拡大を続ける需要に牽引される形で、引き続き順調に業績を伸ばしております。しかしながら、電子部品業界の業績は為替レートの影響を受け易いこと、需要の変動が極めて激しいこと、更には業界大手間における再編の可能性が解消されていないこと等により、先行きの見通しには引き続き不透明感が残っております。

このような状況の中当社は、新主力製品であるSX-Meisterの開発にリソースを投入して、今後拡販活動の軸とするべく、先進の機能を搭載したV4.0.0を昨年末にリリースしました。国内市場においては、9月に開催したプライベートセミナーを契機に、SX-Meisterとそれに付随する高機能オプションの拡販活動を行うとともに、競争力のある代理販売品を梃子に顧客範囲の拡大を図りました。EDAアウトソーシングは、社内外リソースの効率的な活用が功を奏して、売上に大きく貢献するまでに伸ばすことができました。設計受託サービスにおいては、従来の半導体設計に加えてFPD設計も受託することにより、更に売上を伸ばしました。海外市場においては、国際的な展示会でSX-Meisterおよび自動系・解析系ツール群の最新機能をアピールし、最先端の研究成果を発表しました。またリソースを集中した幾つかの重点販売国においては、順調に売上を伸ばすことができました。

こういった活動の結果、売上高はソリューション・ビジネスならびに海外市場向けが大きく伸長したこともあり13億42百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。営業利益は本社移転に伴う費用等を計上した影響により60百万円（前年同四半期比21.9%減）、経常利益は64百万円（前年同四半期比26.2%減）となりました。また四半期純利益は繰延税金資産を取り崩した結果42百万円（前年同四半期比39.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、前事業年度末と比較して2百万円（0.1%）減少し31億89百万円となりました。内訳として流動資産は1億19百万円（4.1%）増加し30億28百万円、固定資産は1億21百万円（42.8%）減少し1億61百万円となりました。流動資産が増加した主な要因は、現金及び預金が1億68百万円（6.9%）減少し22億96百万円になった一方で、有価証券を2億円計上したこと及び、受取手形及び売掛金が68百万円（32.8%）増加し2億75百万円となったことによるものであります。固定資産が減少した主な要因は、投資有価証券が1億89百万円（84.9%）減少して33百万円になったことによるものであります。

負債合計は、前事業年度末と比較して15百万円（3.2%）減少し4億85百万円となりました。内訳として流動負債は、前事業年度末と比較して19百万円（3.9%）減少し4億82百万円、固定負債は3百万円となりました。流動負債が減少した主な要因は、前受金が27百万円（11.0%）増加し2億79百万円となった一方で、賞与引当金が46百万円（50.4%）減少し45百万円となったこと及び、未払法人税等33百万円がなくなったことによるものであります。固定負債の内訳は、資産除去債務3百万円であります。

純資産は、前事業年度末と比較して13百万円（0.5%）増加し27億4百万円となりました。純資産が増加した要因は、利益剰余金の増加13百万円（1.3%）によるものであります。

なお、自己資本比率は前事業年度末の84.2%から84.7%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期の業績予想からの変更はありません。なお当資料に記載の業績見通しについては、現在入手している情報に基づいた見通しであり、当社企業グループの事業領域をとりまく経済情勢、市場の動向等により、実際の業績がこれら業績見通しと大きく異なる場合があり得ることをご承知おき願います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,465,832	2,296,889
受取手形及び売掛金	207,397	275,481
電子記録債権	113,491	97,196
有価証券	-	200,000
商品	-	215
仕掛品	12,435	31,466
原材料	2,816	1,846
繰延税金資産	36,732	22,245
その他	70,593	102,978
流動資産合計	2,909,300	3,028,320
固定資産		
有形固定資産	15,134	46,309
無形固定資産	10,722	10,232
投資その他の資産		
投資有価証券	222,841	33,559
繰延税金資産	9,540	7,120
その他	24,438	64,398
投資その他の資産合計	256,820	105,078
固定資産合計	282,677	161,621
資産合計	3,191,977	3,189,941
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,869	51,379
未払法人税等	33,471	-
賞与引当金	91,978	45,651
前受金	252,149	279,892
その他	81,432	105,303
流動負債合計	501,900	482,227
固定負債		
資産除去債務	-	3,700
固定負債合計	-	3,700
負債合計	501,900	485,927
純資産の部		
株主資本		
資本金	760,007	760,007
資本剰余金	890,558	890,558
利益剰余金	1,071,223	1,085,161
自己株式	△32,791	△32,791
株主資本合計	2,688,997	2,702,934
新株予約権	1,080	1,080
純資産合計	2,690,077	2,704,014
負債純資産合計	3,191,977	3,189,941

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	1,197,773	1,342,703
売上原価	409,093	523,770
売上総利益	788,680	818,932
販売費及び一般管理費	710,743	758,030
営業利益	77,937	60,902
営業外収益		
受取利息	4,392	3,333
解約精算金	4,851	-
その他	1,712	746
営業外収益合計	10,957	4,080
営業外費用		
投資事業組合運用損	1,956	757
その他	170	159
営業外費用合計	2,126	916
経常利益	86,768	64,066
税引前四半期純利益	86,768	64,066
法人税、住民税及び事業税	6,051	4,423
法人税等調整額	10,536	16,906
法人税等合計	16,587	21,329
四半期純利益	70,180	42,736

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

該当事項はありません。